



広報
とうかい

| 特集 |

若者の声を まちのチカラに



東海村の強みは、まちのコンパクトさを生みた人と人との距離感だと思います。若者同士や若者と行政など、いろいろな関係性が心地よい距離感を持っていました。

東海村はまだ取り組み始めたばかりですが、ぜひ短期的な視点ではなく、10年一区切りのよう長く、広い視野を持って取り組んでもらいたいと思っています。16歳でまちと関わった若者が10年たつと26歳となり、社会人として中核を担う年代となります。その時に、初めて東海村が取り組んだ「こども・わかものまちづくり」の成果が見えてくるのではないかでしょうか。

若者たちは常にメッセージを発していますので、全てを子ども扱いすることなく、小さな市民としてその声に耳を傾けてみてください。若者たちもやりたいことをぜひ言葉にしてほしいと思います。東海村にはその想いを受け止める器量があります。新たなまちづくりにチャレンジしている東海村に今後も期待しています。

NPO法人わかものまちは、全国各地でこども・わかものに関するプロジェクトを開催しています。今回は、土肥さんに、本村の「こども・わかもの政策」を歩んできた立場から、東海村の強みや今後に期待することについて語ってもらいました。

心地よい距離感こそ、東海村の強み



NPO法人わかものまち
代表理事
土肥潤也さん

若者の声は、これからまちづくりにおいて、欠かせないものです。日常生活で感じる「もうこうなればいいのに…」という小さな気付きや、若者ならではの柔軟な発想は、地域の魅力や課題を新たな視点で捉え直す大きなヒントになります。若者だからこそ気付ることが、まちの未来を動かす大切な一步になるかもしれません。

若者は、「支えられる存在」から一緒にまちをつくる存在へ。社会全体の意識が変わつてある今、「わかものまちづくり」について一緒に考えてみませんか。

若者の声が、未来のまちをつくる

全国的に加速する「わかものまちづくり」

令和5年4月以降、「こども家庭庁」の創設や、こども基本法が施行されたことがきっかけとなり、「こどもまんなか社会」の実現に向けた動きが全国で広がり始めています。これまで人が中心であったまちづくりに、若者も一緒に参画していくことや、子ども・若者の声に耳を傾けることなどが求められています。このような流れの中で、全国各地で高校生や大学生をはじめとする若者が、地域イベントの企画に参加して、まちの課題について話し合ったり、自分たちのアイデアを地域の方々に提案して実践したりする場が増えています。若者たちがまちづくりに参画し始めた今、社会は着実に変化しつつあります。

自分の“好き”から始まる わかものまちづくり



PICK UP!
#ワクワク★グラフィティ

大谷 美月

高校の先生に勧められ、プロジェクトに参加したことでの価値観が大きく変わるきっかけとなりました。プロジェクトに参加する前は、できない理由を見つけて行動に移せないこともありました。周りの方のサポートを受けながら活動ができるため、自分がやりたいことに全力で向き合うことができています。

「わかもの会議」や「まちづくりスクール」に参加する前は、自分が生まれ育った東海村に特別な想いはありませんでした。しかし、プロジェクトを通して、人とのつながりや地域の魅力に触れ、今では、東海村が“かけがえのない存在”になりました。

そんなプロジェクトに参加できて、私は幸せです。これから多くの後輩たちがこのプロジェクトに参加できるよう、身も関わっていきたいと思っています。私は橋渡し役を務めたいと思いますし、私自身も関わっていきたいと思っています。

高校の先生に勧められ、プロジェクトに参加したことでの価値観が大きく変わるきっかけとなりました。プロジェクトに参加する前は、できない理由を見つけて行動に移せないこともありました。周りの方のサポートを受けながら活動ができるため、自分がやりたいことに全力で向き合うこ

のみんなが背中を押してくれています

PICK UP!

#はしゃげ! NEW スポーツ「トッカビー」



入学者当初は高校卒業後に就職する予定でしたが、地方創生やまちづくりについてさらに学びを深めたいという想いが強まり、大学への進学を決意しました。自分のやりたいことにチャレンジできるプロジェクトに参加てきて、自分の中での大きな強みになりました。

とができます。

奥村 洋太

今までの自分を少しでも変えたい!という想いから「わかもの会議」に参加し、他の学校に通う友達と気軽に意見交換しながら仲を深めることができ、友達の輪が大きく広がりました。さらなる挑戦を目指して参加した「まちづくりスクール」では、自分の好きなダンスをテーマに、プロジェクトとして形にしていくことの楽しさに気付き、人前で発表することにも自信がつきました。これらのプロジェクトを通して得た学びを今後の人生に生かしていきたいです。

新しい自分に出会えました
挑戦することで

PICK UP!
#ダンススクールプロジェクト

鈴木 七夏

今までの自分を少しでも変えたい!という想いから「わかもの会議」に参加し、他の学校に通う友達と気軽に意見交換しながら仲を深めることができ、友達の輪が大きく広がりました。さらなる挑戦を目指して参加した「まちづくりスクール」では、自分の好きなダンスをテーマに、プロジェクトとして形にしていくことの楽しさに気付き、人前で発表することにも自信がつきました。これらのプロジェクトを通して得た学びを今後の人生に生かしていきたいです。



学校生活・将来編



高校生の

みんなのホンネ！徹底調査

リアルボイス

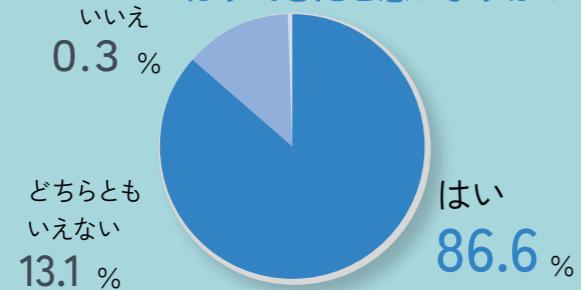
Q10 学校にこれが
あつたらうれしい！
と思うものは？

ヘアアイロン
清潔なトイレ 給湯器
エレベーター モバイル充電器の貸し出し free Wi-Fi
ドリンクバー アイスやお菓子の自動販売機
電子レンジ コンビニエンスストア

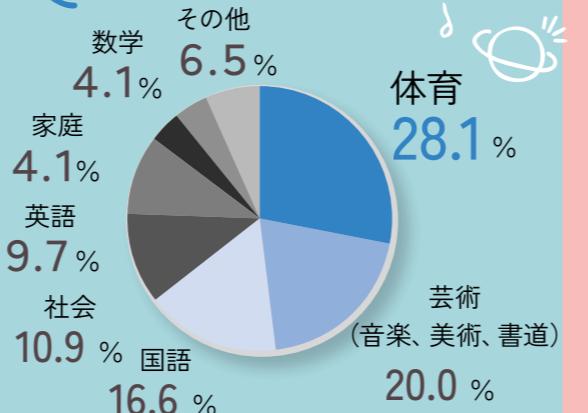
Q7 勉強のモチベーション
を上げる方法は？

ご褒美をつくる
お菓子を食べる 好きな音楽を聴く
目標を立てる 気合い
友達とテストの点数を競う お気に入りの文房具を使う
時間を決めてから勉強する

Q11 若者の声を
取り入れているまち
はすてきだと思いますか？



Q8 好きな教科は？



Q9 将来の夢は？どんな
大人になりたい？

自立したい
保育士 思いやりがある人
看護師 人の役に立ちたい
親孝行したい 幸せな家庭を築きたい
動物関係の仕事
社長 美容師
心に余裕がある人

みんなの声を届けよう！

村では、若者の声をまちづくりに取り入れていきたいと思っています。オンラインプラットフォームに登録(ニックネームでOK)してみんなの声を聞かせてください。



登録は
コチラから！



高校生は、いつの時代も流行の最先端。
大人が追いつかないスピードでアップデー
トを繰り返しています。

そんな高校生たちの実態を探るべく、村
内在住・在学の高校生にアンケートを実施。
約350人が答えてくれました。

皆さんと一緒に、高校生の本音に耳を傾
けてみませんか。思わず共感してしまう“あ
るある”が見つかるかもしれません！

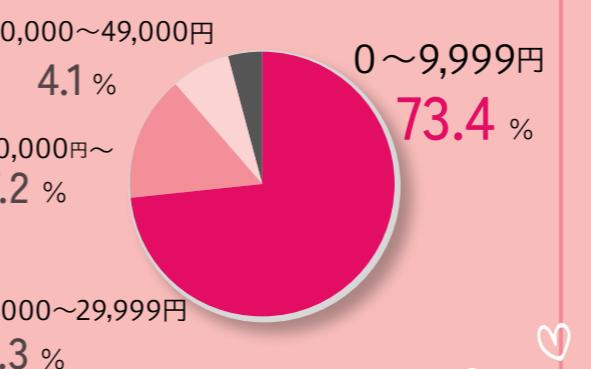


プライベート編

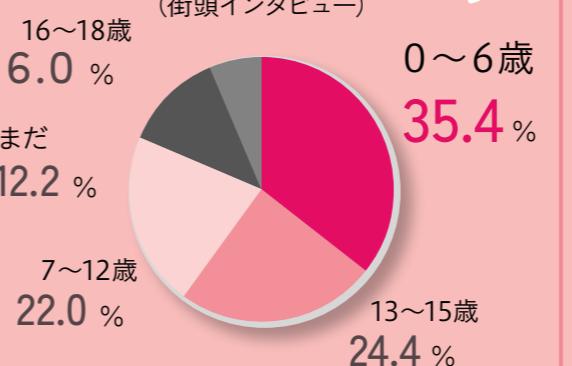
Q1 今、ハマっていることは？

映画鑑賞 カラオケ
推し活 麻辣湯 音楽を聴く
ゲーム 筋トレ
アニメ・漫画 ChatGPT

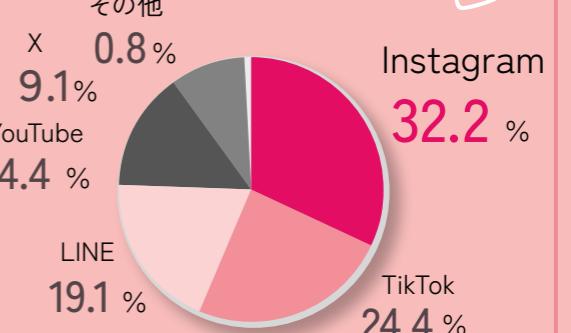
Q4 1か月のお小遣いは
いくらですか？



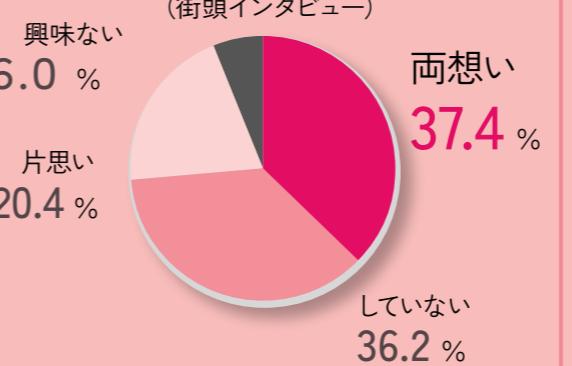
Q5 あなたの初恋は
いつですか？
(街頭インタビュー)



Q2 よく使うSNSは
なんですか？



Q6 今、恋を
していますか？
(街頭インタビュー)



Q3 友達と
何をして遊んでいますか？

プリクラ ご飯を食べる
カラオケ おしゃべり
ゲームセンター ショッピングモールで
Tik Tok お買い物
推し活 オンラインゲーム

たくさんの回答
ありがとうございました！

